

私と たぶん私、 そして 私だった光

日時：2017年5月13日 (土)
午後1時30分～
会場：HRDファインアート
講師：南條敏之

写真ワークショップ：水面を用いたセルフポートレート

水面を鏡に見立ててセルフポートレートを撮影します。

静止した水面と揺らして波立たせた水面で何点かセルフポートレートを撮り、

- ① はっきり自分とわかるもの
- ② ぎりぎり自分とみなせるもの
- ③ 自分とは言えないもの

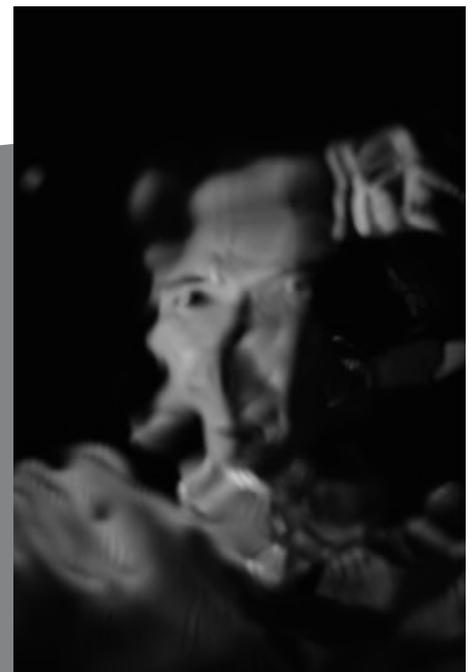
の3点を選んで、その理由とともに各自が発表します。

デジタル機器が社会に浸透した現代では、自分を写真に撮ることはごく当たり前のこととなりました。撮られた写真は、画像処理やアルゴリズムによって本当の自分の姿からは少し離れています。でもむしろ、そんな画像のほうにより自分らしさを感じ受け止めているのではないのでしょうか。自分らしさとは画像の中の一体どれを指すのでしょうか。

誰でもプールサイドやお風呂、路上の水たまりなど、身近な水面にゆがんで映る自分を見た経験があると思います。ワークショップでは、水面にゆがんで映る自分を撮影しながら次のことを考えてみたいと思います――。

かすかに自分の姿を残す水面上の光のかたまりの、どこに自分を見つけるのでしょうか。私が私でなくなるのは何を失うからでしょうか。

南條敏之



講師紹介＝南條敏之(なんじょう としゆき)

写真作家。

1972年東京都生まれ。現在、神奈川県在住。太陽の光や水面、防砂林などの自然や風景を題材に、見ることと見えるもの、認識の関係性やズレに着目した、写真ならではの表現を追求している。

国内外での個展のほか、「Blue Dot Asia」(韓国ソウル市、2008年)、「昌原アジアアートフェスティバル」(韓国昌原市、2014年)、「鏡 - Reflected Images」(川崎市市民ミュージアム、2015年)などグループ展にも多数出品。現在、HRDファインアート(京都)にて個展「suns / signs / spectators」を開催中(6/3まで)。

<http://nanjotoshiyuki.com>

ワークショップ開催概要

日時：2017年5月13日(土)

午後1時30分～

(午後4時頃終了予定)

対象：高校生以上(中学生以下の方も保護者同伴で参加可能です)

定員：10名(要事前申込・先着順)

参加費：無料

持ち物：カメラ等は講師が用意します。
動きやすい服装でお越し下さい。

申込方法：Eメールに「ワークショップ参加希望」と①氏名②年齢③連絡先(電話番号)を明記のうえ鞍馬口アートインスティテュート(kuramaguchi.a.i.kyoto@gmail.com)までお送りください。

会場＝HRDファインアート

住所：京都市上京区上御霊野町494-1

交通：地下鉄烏丸線鞍馬口駅から徒歩1分

お問合せ：<http://www.hrdfineart.com>

T: 090-9015-6087

E: info@hrdfineart.com

